

「ゆうちょ通帳アプリ」等の追加機能等

1 「ゆうちょ通帳アプリ」

(1) 投資信託のお取引（実施時期：2022年1月4日（火）9時公開予定）

「ゆうちょ通帳アプリ」に登録している口座を決済用口座として、投資信託口座をお持ちのお客さまは、「ゆうちょ通帳アプリ」から投資信託の残高確認や購入などのお取引が可能となります。

【画面イメージ】



※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合がございます。

(2) 担保定額定期貯金のお取引（実施時期：2022年1月4日（火）9時公開予定）

「ゆうちょ通帳アプリ」に登録している口座で、担保定額定期貯金の預入・払戻しが可能となります。

(3) 口座貸越サービスのお取引（実施時期：2022年1月4日（火）9時公開予定）

「ゆうちょ通帳アプリ」に登録している口座で、口座貸越サービスをご利用いただいている場合、お借入残高・お取引明細の確認、随時返済が可能となります。

(4) 無通帳口座への切替（実施時期：2022年1月4日（火）9時公開予定）

「ゆうちょ通帳アプリ」に登録している口座について、無通帳型総合口座（ゆうちょダイレクト+（プラス））への切り替えが可能となります。

なお、「ゆうちょダイレクト」をご利用いただいていないお客さまには、あわせて「ゆうちょダイレクト」をお申し込みいただきます。

(5) ご登録情報の変更（実施時期：2022年1月4日（火）9時公開予定）

「ゆうちょ通帳アプリ」に登録している口座について、住所および電話番号の変更が可能となります。

※ 「ゆうちょ認証アプリ」を利用登録していただいたうえで、「ゆうちょ認証アプリ」による認証が必要です。

(6) ご送金（実施時期：2022年3月頃）

① 電信振替（ゆうちょ銀行口座あての送金）

「ゆうちょ通帳アプリ」に登録している口座から、電信振替が可能となります。

※ 「ゆうちょ認証アプリ」を利用登録していただいたうえで、「ゆうちょ認証アプリ」による認証が必要です。

※ 送金料金は「ゆうちょダイレクト」と同じです。無料送金回数（月5回）は「ゆうちょダイレクト」でのご利用も含まれます。

※ 1日の送金限度額は、「ゆうちょダイレクト」をご利用いただいている場合、「ゆうちょダイレクト」で設定した上限金額まで送金でき、「ゆうちょダイレクト」でのご利用を含みます。「ゆうちょダイレクト」をご利用いただいていない場合、5万円です。

② 他行送金（実施時期：2022年3月頃）

「ゆうちょ通帳アプリ」に登録している口座から、他の金融機関口座への送金が可能となります。

※ 「ゆうちょ認証アプリ」を利用登録していただいたうえで、「ゆうちょ認証アプリ」による認証が必要です。

※ 送金料金は「ゆうちょダイレクト」と同じです。

※ 1日の送金限度額は、「ゆうちょダイレクト」をご利用いただいている場合、「ゆうちょダイレクト」で設定した上限金額まで送金でき、「ゆうちょダイレクト」でのご利用を含みます。「ゆうちょダイレクト」をご利用いただいていない場合、5万円です。

【画面イメージ】

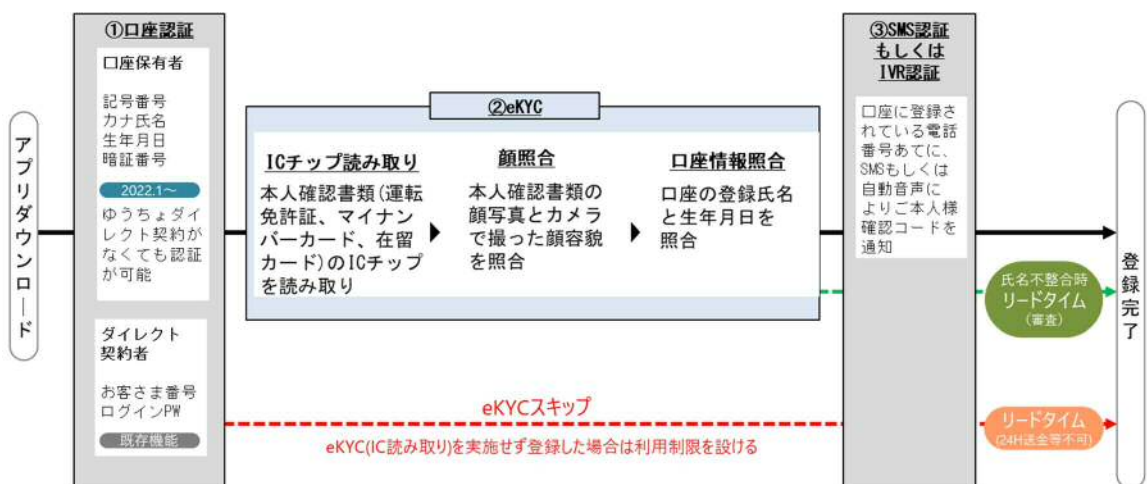


※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なる場合がございます。

2 「ゆうちょ認証アプリ」

(1) eKYC 認証（実施時期：2022年1月4日（火）9時公開予定）

なりすまし登録等の防止のため、「ゆうちょ認証アプリ」の利用登録時にeKYC（オンライン本人確認）を追加します。eKYCでは、本人確認書類に登録されているIC情報を読み取り、登録されているお客さまの情報と登録時に撮影いただく顔の情報、銀行に届け出いただいている情報を照合することで、お客さまにより強固なセキュリティをご提供することを目指します。（株式会社Liquidが提供する「LIQUID eKYC」を利用）



なお、eKYCを行わずに利用登録していただくことも可能ですが、その場合、一部の取り扱いが制限されます。また、利用登録後、24時間を経過するまでは、アプリによる送金のご利用いただけません。

【「ゆうちょ通帳アプリ」、「ゆうちょダイレクト」の取引が制限される取り扱い※】

項目	制限内容
送金 (電信振替、他行送金、Pay-easy、連動振替決済サービス)	1日の送金限度額を5万円に引き下げ (「ゆうちょ通帳アプリ」ではPay-easy、連動振替決済サービスの取り扱いなし)
国際送金の申し込み	利用不可(「ゆうちょ通帳アプリ」では取り扱いなし)
送金限度額引き上げ	利用不可(「ゆうちょ通帳アプリ」では取り扱いなし)
住所・電話番号変更	利用不可

※ 2022年1月3日(月)以前から「ゆうちょ認証アプリ」をご利用いただいているお客さまは、1日の送金限度額引き下げ等の機能制限はありません。ただし、機種変更等によりアプリを新規利用登録する際に、eKYC認証が必要となる場合があります。その場合、eKYC認証を行わないと1日の送金限度額が5万円となります。

(2) 口座記号番号での利用登録(実施時期:2022年1月4日(火)9時公開予定)

これまでは利用登録に「ゆうちょダイレクト」のお客さま番号、ログインパスワードが必要でしたが、記号・番号等の口座情報とキャッシュカード暗証番号で利用登録が可能になります。

また、「ゆうちょ通帳アプリ」を登録いただく際、および「ゆうちょダイレクト」をWebからお申し込みいただく際に、「ゆうちょ認証アプリ」で認証を行うことで、キャッシュカード暗証番号・電話番号認証を省略できます。

3 「ゆうちょダイレクト」

(1) メールワンタイムパスワードによる送金時認証の廃止(実施時期:2022年1月4日(火)0:05)

「ゆうちょダイレクト」のセキュリティ強化のため、メールワンタイムパスワードによる送金時認証を廃止します。

<メールワンタイムパスワードによる送金時認証の廃止>

対象のお客さま	廃止時期
2022年1月3日(月)までに、ゆうちょダイレクトのお申込手続きを完了したお客さま	2023年5月頃 ※2022年1月以降、「ゆうちょダイレクト利用申込書兼変更・廃止届書」で、ゆうちょダイレクトの「再申し込み」の手続きを完了した場合は、その際に、メールワンタイムパスワードによる送金時認証は廃止されます。
2022年1月4日(火)以降に、ゆうちょダイレクトのお申込手続きを完了したお客さま	新規申し込み時から、メールワンタイムパスワードによる送金時認証は、ご利用いただけません。

今後、送金時には「ゆうちょ認証アプリ」(無料)またはトークン(ワンタイムパスワード生成機)(有料)が必要となります。

これに伴い、2022年1月から2023年4月までの間、トークンを新規に申込みいただいた際の料金を1,650円から825円に引き下げます。

※ 再発行の場合の料金は1,650円から変更ありません。

(2) 担保定額定期貯金のお取引（実施時期：2022年1月4日（火）0：05）

無通帳型総合口座（ゆうちょダイレクト+（プラス））の利用有無に関わらず、「ゆうちょダイレクト」で担保定額定期貯金の払戻しが可能となります。

また、無通帳型総合口座をご利用いただいているお客さまは、担保定額貯金の預入が可能となります。